

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちよびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゅーす

4月21日(土)

読み聞かせで育てる思いやりの心

長浜小学校で、上学年が下学年に本の読み聞かせを行う「交流読書」が行われました。

本を見やすいように相手に向けたり、語りかけるように読み上げたり、思いやりや工夫が感じられます。

読み聞かせを終えた6年生の児童は、「どんなお話が喜んでもらえるかを考えて本を選びました」、1年生の児童は「お話が面白かった」と話し、交流読書を楽しんだ様子でした。



4月22日(日)

春の山を満喫

名越町にある横山森林公園一帯で「春の横山ピクニック」が行われました。

この日は29人が参加し、登山道を歩いて、タケノコを掘ったり、山菜を採集しながら山頂をめざしました。

2時間の山歩きのあとの昼食では、横山で採れた山菜の天ぷらやすまし汁などが参加者に振舞われました。山の幸に舌つみを打ち、春の横山岳を満喫しました。

4月28日(土)

ペDESTリアンデッキが開通しました

JR長浜駅とえきまちテラス長浜を結ぶペDESTリアンデッキの開通式、渡り初めが行われました。

また、同日ニューチャレンジショップとして、えきまちテラス長浜がグランドオープンしました。テラスには、子どもたちがインドアやアウトドアで遊べる大規模なキッズランドが誕生したほか、1階のマルシェは品揃いが充実し、イートインコーナーが設置されるなど、親子で楽しめる施設となりました。



4月30日(月・振休)

多くの人に支えられ来館者50万人達成!

ヤンマーミュージアムの来館者が50万人を達成しました。平成25年の開館以来、約5年での達成となりました。

記念すべき50万人目の来場者となったのは名古屋市在住の上久保悠希ちゃん(4歳)。家族は「とにかくびっくり。本人にとっても長浜のいい思い出となったと思います」と笑顔で話しました。

ミュージアムは9月からリニューアルのため約1年間休館予定。休館前に足を運んでみてはいかがでしょうか。

5月5日(土・祝)

五穀豊穡を願う春の大祭

七条町の足柄神社で春季例大祭が執り行われました。

地元の子どもたちによる華々しい武者行列や稚児行列とともに見どころとなるのは、勇壮な神輿の渡御。16~28歳の若い衆20人ほどが掛け声を上げながら、町内を練り歩きます。

およそ3時間もの渡御の後、拝殿の前で重い神輿を大きく揺らし、何度も行き来を繰り返したりしながら、ようやく拝殿に神輿がおさめられ、歓声の中で祭りが幕を閉じました。



5月8日(火)

プロの歌声が体育館に響きました

びわ湖ホール声楽アンサンブルがびわ南小学校を訪れ、子どもたちに歌声を届けました。

この事業は(公財)びわ湖芸術文化財団が行っているもので、毎年県内の学校10校を訪問しており、今年度1校目にびわ南小学校が選ばれました。

校歌や童謡、オペラなどが披露され、迫力があり美しい歌声に子どもたちは引き込まれました。

5月12日(土)、13日(日)

初夏の湖北路をウォークで満喫

歩きながら湖北の魅力を楽しむ人気イベント「びわ湖長浜ツアーデーマーチ」が2日間にわたり開催され、全国から3,172人が参加しました。

コースは全7コースあり、歩きたいルートや距離によって選ぶことができます。参加者らはそれぞれのペースでウォークを堪能。肌で季節を感じ景色をゆっくりと楽しみながら、ゴールをめざしました。



5月13日(日)

景勝地の歴史と自然を楽しむ

賤ヶ岳の麓で歴史ロマンと自然をPRする「賤ヶ岳まつり」が開催されました。

会場には、現地ガイドが賤ヶ岳の魅力を解説するブースがあり、訪れた人々は、歴史の深さ、自然の豊かさに感動していました。

またステージでは、プラスバンドの演奏やマジックショーのほか、地元よさこいチーム「天舞賤ヶ岳」がゲストチームとともに力強い舞を披露し、イベントを大いに盛り上げました。